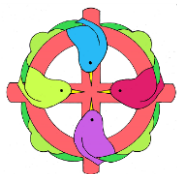


千鳥の杜学園



# 城北小だより

松江市立城北小学校 学校だより 令和4年10月号

## 秋にいました。

日頃より、本校教育活動にご理解、ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。一雨一度と言われるようにこの時期雨が降るたびに気温が下がってくるように思います。とは言うものの日中はまだ暑い日もあり、休み時間が終わって教室に帰る子どもたちの中には汗ばんでいる子どもも多くいます。虫探し、木の実探しなど季節に応じた遊びに夢中になっている姿をよく見かけます。「何探してるの?」「ツツレサセコオロギです」「……」コオロギはエンマコオロギだけだと思っていた私はこの年になって初めて教えてもらいました。そういえば大人になるにつれて地面から遠ざかったなと感じます。しずくがついてよく見える日の蜘蛛の巣、キンモクセイの匂い、虫の音、カマキリの鎌につかまれる感覚、秋の木の実の味わいなどなど、子どもたちには今しかできない体験をしっかりと、五感をとおして身近な自然を感じ取って欲しいと願っています。

さて、去る9月29日に開催した地域に開く授業公開日には、多くの保護者の皆様に来校いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。今回は、人権教育に焦点を当てた授業をみていただきました。自分自身の体について、自分らしさとは、家族や友達との関わり、言葉の持つ力、それぞれの学年に応じてテーマを持って学習しました。自分自身を大切に、そして同じように周りの人を大切にしながらこれからも生活していけるといいと思います。もちろん誰も失敗はあります。そんなときは素直に自分を振り返り、やり直せるといいなと思います。授業後に参観された保護者の方から温かい励ましの言葉やご提案など感想をいただきました。ありがとうございました。

また、授業公開後にはPTA研修部の皆様にお世話になり、PTA家庭教育研修会を行いました。小脇 洋 前校長先生にお越しいただき、「ワクワク子育て ー大人にできることー」というテーマでご講演いただきました。「子どもの嫌いなことは3つの『ひ』批判・比較・皮肉」「ほめる、叱るの2択ではない。子どもの話をただ聴く、ただ話すこともとても重要、大切なことは子どもを尊重すること」「子育て本当にお疲れ様です、愚痴を言える相手はいますか?弱音は漏らしていいですよ!子どもたちは皆さんの最大の味方だということを忘れないでください。」子育てについてのヒントや励ましの言葉をいただきました。小脇先生ありがとうございました。



## 松江市連合音楽会に参加しました

10月5日（水）、6日（木）、7日（金）は松江市の連合音楽会が県民会館で行われました。城北小学校は6年生が代表として7日（金）午後の部に参加しました。演奏曲目は合唱「地球星歌～笑顔のために～」、合奏「彼こそが海賊」でした。午後の部の一番最後の出演で最後まで緊張していたと思いますが、いざステージに上がるとみんなが心を一つにして今までの練習の成果を一杯発揮しました。合唱では世界中のみんなが笑顔になれるようにという願いが込められた歌詞を、丁寧に心を込めて聴いている人に伝えてくれました。とても美しい歌声でした。合奏では映画「パイレーツオブカリビアン」のテーマ曲を見事に演奏しました。背景に海賊旗のたなびく帆船が大海原を颯爽と進む風景が見えるような演奏でした。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため夏休み中の学校での練習は行いませんでした。タブレットに録音した音源をもとに家庭での個人練習でしたが、少ない練習時間で子どもたち一人一人がよく頑張りました。ご家庭でのご協力ありがとうございました。



## 学習の風景



1年：北田川生き物探し・校庭虫探し



2年：ジャガイモ大作戦



3年：松江のすてき発見隊



4年：大橋川コミュニティセンター見学



5年：ユニバーサル社会をめざして

## 読書の秋になりました。

10月27日(木)～11月9日(水)は秋の読書週間です。図書館や書店でもこの時期に合わせていろいろな催しがおこなわれます。この読書週間は、大正13年に始まった読書週間に由来するそうです。その前の年、関東大震災が起きました。たくさんのお本が焼失したことから当時の日本図書館協会が本にまつわる活動をしようと声がけするところから始まったそうです。

城北小学校では夏休み中に読書に関わる教職員研修を行いました。しまねブックトーク研究会の宇田祥子(うださちこ)先生に講師としてお越しいただき「読む喜びを生きる力に」というテーマでお話をいただきました。そのお話の中で「なぜ読書は必要か」ということをお話いただきました。ずっと「本を読みなさい。」「本を読むといいことがあるよ」とか、いろいろな言葉で読書の大切さを伝えてきましたが、今ひとつ伝えきれませんでした。そんな中で次の三つの理由を教えてください「そうか、やっぱり子どもたちに読書を勧めたいなと思いました」その理由を以下に紹介します。



〔優れたお話を読むことで子どもたちは、〕

- ① 様々な主人公たちと出会うことができる。それらの主人公たちと共に世界の大きさや深さ、神秘、美しさや楽しさを体験しながら現実とは別に自分の中に空想の世界を作り上げることができる。子どもたちは無意識に空想の世界に自分を遊ばせ、力をつけて現実の世界に戻ってくる。
- ② 主人公と共に困難に立ち向かい乗り越えていくことで、深い感情体験をすることができる。特に負の体験から脱却していく体験を重ねることは想像力を働かせて他者の思いに共感し、確かな考えを築くことに繋がっていく。子どもたちは日々の生活の中でいろんな経験をし、いろんな感情を持ちます。やり場のない気持ち、言葉で表せないような気持ちを味わったとき、今まで読んだ本が浮かんできて「ああこれなんだ今の気持ち」と。自分の感情を理解することに繋がります。そしてその負の感情はそのとき読んだ本の主人公が乗り越えていったように、きっと乗り越えられるという勇気を感じることができます。—
- ③ 子どもたちは自分の物語を作るためにたくさんの物語が必要だ。優れた本を読むことで人生に良いイメージを持ち、生きる希望や夢を見だし、豊かに頼もしく生きていく力を付けていく。読んだそのときだけでなく、長い人生のそのときそのときの経験の中でよみがえってくる物語を持つことができる。それはきっと人生をより豊かなものに変えてくれる。

では「どんな本がいいの？」

先生が今までのご経験の中からおすすめの15冊の本を紹介してくださいました。子どもということで紹介していただきましたが大人が読んでもきっと大人なりの気づきがある本だと思います。是非、「何を讀もうかな」と思われたときの手がかりにしてください。

- ① エルマーのぼうけん (R・S ガネット作) わたなべしげお訳 (福音館書店)
- ② こぎつねルーファスのぼうけん (アリソン・アトリー作) 石井桃子訳 (岩波書店)
- ③ ちびっこカムのぼうけん (神沢利子作) (理論社)
- ④ エーミルはいたずらっ子 (リンドグリーン作) 石井登志子訳 (岩波書店)
- ⑤ 小さな山神スズナ姫 (富安陽子作) (偕成社)
- ⑥ 長くつ下のピッピ (リンドグリーン作) 大塚勇三作 (岩波書店)
- ⑦ やかまし村の子どもたち (リンドグリーン作) 大塚勇三作 (岩波書店)
- ⑧ くしゃみくしゃみ天のめぐみ (松岡享子作) (福音館書店)
- ⑨ 大どろぼうホッツェンプロッツ (プロイスラー作) (中村浩三訳)
- ⑩ 大力のワーニャ (プロイスラー作) 大塚勇三作 (岩波書店)
- ⑪ ドリトル先生アフリカゆき (ヒュー・ロフティング作) (井伏鱒二訳) (岩波書店)
- ⑫ 冒険者たち (斎藤惇夫作) (岩波書店)
- ⑬ ライオンと魔女 (C・S ルイス作) 瀬田貞二訳 (岩波書店)
- ⑭ ハイジ (j・シュペーリ作) 矢川澄子訳 (福音館書店)
- ⑮ ニルスのふしぎな旅 上・下 (セルマ・ラーゲルレーヴ作) 菱木晃子訳 (岩波書店)



先生から「読んだ本の冊数だけでなく、どんな本を読んだかが大切」という言葉をいただきました。もくもくの会のボランティアの皆様にも支えていただきながら、司書教諭、図書館司書を中心に伝統ある城北小学校の読書活動がますます盛んになるようにみんなで取り組んでいきたいと思ひます。



## 11月の主な予定

(10月末現在の予定ですので変更する場合があります。)

- 1日(火) アンケートQU2 回目(3年生以上)
- 2日(水) 水泳学習(1年)・委員会
- 4日(金) 4年佐陀川見学(弁当)・3年お話出前
- 7日(月) 松江市原子力防災訓練(9:10-)
- 9日(水) 校区あいさつデー・水泳学習(2年生)・委員会
- 10日(木) 表現運動発表会(12:00-15:30 県民会館3年生弁当)  
5年お話出前
- 11日(金) 4年授業公開日・校外学習(3年)
- 15日(火) 2年じゃがいも大作戦第2回観察会・4年お話出前
- 16日(水) 6年お話出前・Jアラート伝達試験(11:00ごろ)・クラブ
- 17日(木) 歯の健康教育実習
- 18日(金) 3年消防出前授業AM(駐車場使用)・もくもくの会打合せ会(9:30-会議室)
- 22日(火) 5年琴の体験学習
- 28日(月) 6年こころの劇場配信
- 29日(火) 5年授業公開日
- 30日(水) 1年お話出前・委員会

